



平成 30 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社アゴーラ・ホスピタリティー・グループ
代表者名 代表取締役社長 クォック・ゲイリー・ヤン・クエン
(コード：9704 東証第1部)
問合せ先 取締役CFO 佐藤 暢樹
(TEL. 03-3436-1860)

営業外費用の計上ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成30年12月期第3四半期累計期間（平成30年1月1日～平成30年9月30日）において、営業外費用を計上することといたしましたのでお知らせするとともに、最近の業績動向等を踏まえ、平成30年2月9日に公表した平成30年12月期（平成30年1月1日～平成30年12月31日）通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の計上

為替相場の変動により、平成30年12月期第3四半期連結累計期間（平成30年1月1日～平成30年9月30日）において、79百万円の為替差損を営業外費用に計上することといたしました。

これは、主として当社保有の豪ドル建等の一部外貨建て資産に対する為替相場が前期末に対し円高に推移したことにより発生した為替差損であり、今後の為替相場の状況によりこの額は変動いたします。

2. 業績予想の修正について

平成30年12月期通期連結業績予想数値の修正
(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,500	290	290	200	0円76銭
今回修正予想 (B)	6,800	40	△100	△250	△0円98銭
増減額 (B-A)	△700	△250	△390	△450	
増減率 (%)	△9.3	△86.2	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成29年12月期)	7,603	△31	70	248	0円95銭

3. 業績予想の修正の理由

売上高は、宿泊事業において、主に関西地方における地震や豪雨、台風による自然災害の影響で、ビアガーデンおよび宴会のキャンセルが発生し、レストラン・宴会部門が伸び悩んだこと等により、前回予想を下回る見込みです。また、利益面においては、固定費の削減をはじめ、営業費用の抑制に努めましたが、売上高が当初の想定に至らず、営業利益は前回予想を下回るものの利益を確保する見込みです。さらに、営業外費用に当社が保有・運用する外貨建て資産に係る為替差損のほか、資金調達費用等の金融費用を計上すること等により経常利益は前回予想を下回る見込みです。親会社株主に帰属する四半期純利益については、宿泊事業における匿名組合出資に係る非支配株主に帰属する四半期純利益が増加すること等により前回予想を下回る見込みです。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上